

謹賀新年



今月の主な内容

- 新年のご挨拶
- 空き家を活用するための助成制度
- 文化センターTOM周辺の活性化に向けて

今月の表紙

流水浮かぶ三里浜の日の出
皆さまにとって光り輝く年になりますように

新年を迎えて

湧別町長

刈田 智之



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

令和7年が幕を開けました佳き日に、皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に石川県能登半島で大規模な地震が発生し、全国が驚愕の念を抱きました。9月には、さらに追い打ちをかけるかのような大雨が被災地を襲い、河川が氾濫するなど甚大な被害をもたらしました。ここに、罹災された皆さまに對しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

近年、全国各地で地震あるいは猛暑やゲリラ豪雨などの異常気象による被害が多発しております。自然災

害は、私たちの生活や地域経済にも影響を及ぼすものであり、本町におきましても防災対策の強化が急務であります。今後も地域の皆さまにご協力いただきながら、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

政治の分野では、10月に石破内閣が発足し、新たなリーダーが国の方針を導くこととなりました。これにともない、私たち地域住民にとりましても、政策の変化が生活に影響を及ぼすことが予想されますが、地方自治体への支援や地域振興策がどのように進められるのかを注視しながら、適切な対応を進めてまいります。

また、アメリカでは、トランプ大統領が再選を果たすなど、国際関係にも変化がありました。これらの政治的な動きは、わが国の経済や安全保障にも影響を与えるものであり、引き続き関心を寄せてまいりたいと考えております。

一方、スポーツ界では、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、多くの日本人選手が世界にその名を轟かせました。女子やり投げで金メダルを獲得した北口榛花選手をはじめ、道内出身選手が活躍されたことは、私たち道民の誇りであり大きな励みとなりました。

選手の皆さんの素晴らしいパフォーマンスは、日本のスポーツ界に新たな風を吹き込み、その活躍を通じて、若い世代が夢や希望を持ち、スポー

ツの持つ力を再認識いたしました。

さて、私の任期は最終年を迎えましたが、これまでの取り組みを振り返りつつ、個人の心身と社会がともに良い状態である「ウェルビーイング」の高いまちづくりを目指し、地域の皆さまが心豊かに暮らせる環境づくりを最優先の課題と捉え、インフラ施設の整備や行政のデジタル化の推進、子ども施策の充実、災害対策など、行政サービスの向上が図られるようさまざまな施策に取り組んでまいります。

そのためには、町民の皆さまとの対話を重視し、地域のニーズや要望を把握し、施策に反映させることが重要であります。皆さまの声が湧別町の未来を形作る力となります。

『町長とのふれあいトーク』や『町長いつでもカフエ』なども開催しておりますので、ぜひ、積極的なご意見をお寄せいただきたいと思います。

最後に、本年の干支である巳年は、「成長」や「変化」を象徴する年とされており、この年を通じて、湧別町がさらなる成長を遂げ、地域の魅力が一層引き立つことを期待するとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

皆さまのご健康とご多幸を
心からお祈り申し上げます

湧別町

町長 刈田 智之
副町長 因 洋史

湧別町教育委員会
教育長 阿部 勉

湧別町農業委員会
会長 吉村 智之

湧別町選挙管理委員会
委員長 森谷 重俊

湧別町監査委員
代表 水野 豊

湧別町消防団
団長 高橋 直司

迎春

新年のご挨拶

湧別町議会議長

村田 一志



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただいていますこと、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

新年を迎え、議会としての責任の重さをあらためて感じるとともに、本町のさらなる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにいたしましたのであります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の対策がようやく落ち着き、町内のイベントや、観光客なども以

前の活気を取り戻しつつあることを実感できる1年となりました。

屯田七夕まつり、盆踊り、産業まつりなどは活気にあふれ、チューリップ公園など観光施設には多くの来場をいただくなど、皆さまの笑顔を目にするたびに安堵するとともに、開催する関係者の皆さまの努力に対し、あらためて感謝申し上げます。

昨年は国外においては紛争が止まらず、ロシアとウクライナの紛争は

まだ終結が見いだせません。また、国内においては、正月から大きな地震（能登半島地震）による災害、日航機の事故など、衝撃的な事案が発生し、多くの方々が大変な思いをされることとなりました。

そのような中で始まった1年ではありますが、真夏の過酷な状況の中でのパリオリンピック・パラリンピックでの日本選手団の活躍、また毎日活躍を楽しませてくれた大谷翔平選手の間年 MVP 受賞など、今年も多くの選手が日本中を盛り上げ、元気をくれました。

本町においても、スポーツ、吹奏楽、ピアノなどさまざまな分野で多くの子どもたちが、全道大会などに出場されました。

本年も多くの才能が芽吹き、活躍することを期待するところであります。

さて、皆さまもご存じのとおり、

物価高による生活の圧迫、温暖化による気象の乱れなどが日々ニュースとなっており、私たち湧別町民の生活にも大きな影響を与えております。また、燃料の高騰や酪農業における飼料の高騰など、本町の基盤産業である一次産業への影響が依然深刻となっております。

湧別町の財政状況は町民の皆さま方のご努力により、良好に推移しておりますが、子どもからお年寄りまで安心して暮らすことができる環境の整備、地域を支える産業の振興や人材の育成・確保など多くの課題に向けて、引き続き、適切な行財政運営に努めなければなりません。

このような状況の中、町、議会、関係団体などが話し合いを重ね、手と手を取り合い、一体となって、湧別町の未来のため乗り越えなければならぬと感じております。

『皆さまに愛される湧別町』、『ふるさとが好きだと言ってもらえる湧別町』となるよう、皆さまの負託に応えるためにも議員一丸となつて、より一層努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとつて、実り多き年でありますよう、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

謹んで

新春のお慶びを申し上げます

湧別町議会

議長 村田 一志

副議長 脇坂 敏夫

総務厚生常任委員会委員長

高田 映二

産業文教常任委員会委員長

小形 秀和

議会運営委員会委員長

酒井 純一

議員

関野 一良

加藤 政弘

村川 勝彦

下田 英人

檜山 洋一

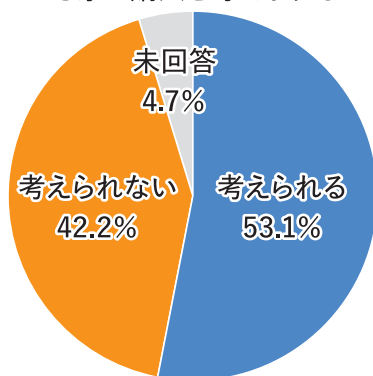
～使いみちのない空き家を持っている皆さん～

あなたの「空き家」が、誰かの「住まい」に。



あなたの持つその空き家、活用することを考えてみませんか？

空き家の購入を考えられるか



その一方で、公営住宅に入居されている方を対象としたアンケート調査によると、「空き家の購入を考えられる」という回答が半数以上を占め、空き家に対する需要が存在していることを見て取ることができます。

さらに、全空き家数の約4割となる385万戸が、賃貸や売却の予定がない「何も利用されていない空き家」であることも判明しました。

今年発表された令和5年住宅・土地統計調査によると、令和5年10月1日現在で全国の空き家数は約900万戸に上ることが明らかになりました。平成30年から51万戸増え、総住宅数に占める空き家の割合も0.2ポイント上昇して13.8%となり、過去最高を記録しています。

町では「空き家の取り壊しに対する助成」を、平成25年度から状況変化に合わせて形を変えつつ継続して実施しています。

さらに、令和5年度からは、すでにある空き家を流通させていくために、「空き家を活用するための助成」も新たに始めました。



空き家流通促進事業



これから空き家を売却や賃貸などで活用しようとする方に対して、空き家の相続登記手続きや残置物の処分にかかる費用を助成します。

▶ここがポイント

令和6年4月から義務化となった相続登記手続きを行う際の司法書士への報酬や、屋内残置物を処分するために業者へ委託した費用などが対象です。さらに、屋内の清掃費用も対象となります。

▶このような方が活用できます（例）

- ・今後、賃貸や売却などをしていきたいけど、家財道具もそのまま…
- ・建物と土地の名義が亡くなった親のままになっている… など

▶活用していただいた方の声

数年前に両親が亡くなり、私が空き家の管理をすることになったのですが、私自身も家庭があり、町内には住んでいないため、今後どう維持管理をしていくか、あるいは処分をするべきかで頭を抱えていました。

役場の担当者にこの状況を相談したところ、空き家の相続登記や屋内の家財処分に対する助成制度を紹介してもらい、それを活用することで大変助かりました。

相続登記や家財処分は順調に終わることができたものの、築50年近く経過している老朽化した住宅が売れるかどうか不安でした。

しかし、町の空き家バンクに登録したところ、幸いなことにすぐに売却することができました。「実家を手放す」という結果となり、寂しい思いもありますが、住まいを必要としている方につなげることができて、ほっとしています。

空き家を所有している方はまずは役場に相談してみることをお勧めします。



遠軽町在住 K・Tさん



空き家賃貸住宅化支援事業



町内における賃貸住宅の不足を解消するため、空き家を賃貸住宅へ転用するための改修工事費用などを助成します。

▶ここがポイント

賃貸住宅とするために取得した空き家の購入費用も対象となります。さらに、町内業者により改修工事を実施した場合、最大100万円まで助成します。

▶このような方が活用できます（例）

- ・実家を壊すのも抵抗があるし、誰かに住んでもらいたいがどリフォームしないと…
- ・会社で、空き家を活用した社員寮・賃貸住宅を整備したい… など

▶活用していただいた方の声

湧別町では、学生の通学が不便な地域があり、子育て世代の方々が学校に近い市街地の賃貸物件を探されているという話を耳にしていました。

あるとき、湧別町内の売り住宅の広告を目にし、「湧別町にはたくさんの空き家がある。これらを必要としている方々につなげられないだろうか」と考え、不動産業に乗り出すことを決意しました。

古い空き家の取得にはリスクもありますし、購入には慎重でしたが、この助成金を活用することで、妥協せず、満足のいくリフォームが可能となり、購入に踏み切ることができました。

空き家を手放したい所有者から、住まいを求めている方へ提供することができましたし、多少ですが、湧別町内の建設業者にも仕事を作ることができて、みんなが満足のいく結果になったかなと思います。



遠軽町 L社



空き家等情報バンクをご活用ください

空き家・空き地情報を町ホームページなどに掲載し、空き家を利用したい方々へ必要な情報を提供する取り組みを行うことで、空き家の利活用と移住者や定住者の増加につなげています。

売却や賃貸可能な空き家や空き地をお持ちでしたら、ぜひご活用ください。



町ホームページ
空き家情報バンク

<お問い合わせ先>企画財政課未来づくりグループ